

七夕でSDGs ~星空編~

七夕当日の関心事といえば、「今晚は晴れる?」。毎年梅雨のさなかに訪れる七夕の夜、天の川が見られるのか?・・・ところが、せっかく晴れても天の川が見られないことも。「星空」を切り口に社会の課題やその解決にチャレンジしているトピックスを紹介します。

SDGs通信『光ヶ丘×SDGs』2020-号外④
2020年7月6日発行

星空×SDGs① きれいな空について考える



七夕の日、夜空を見上げます。今年は織姫と彦星は逢えるのだろうか・・・どうか晴れますように。ところが、せっかく晴れているのに肝心の天の川が見られない!それどころか、「夏の大三角」を形作る「こと座のベガ(織女星)」と「わし座のアルタイル(牽牛星)」さえも探すことができない・・・。空がきれいでない、星は見ることができないのです。そこで、「七夕×星空×SDGs」の視点で「きれいな空」について考えてみましょう。



★ 天の川が見えない——大気汚染

多少の星空は見えても、天の川は見えない—その原因のひとつが大気汚染です。火力発電所や工場、自動車などから排出される硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)や浮遊粒子状物質等の大気汚染物質が原因で引き起こされる環境汚染です。大気汚染物質の濃度が濃ければ濃いほど視程は悪くなり、天の川は見えなくなります。明るい昼間であれば視程が確保しやすい「スモッグ」にも気づきやすいのですが、夜間はもともと暗いため、視程—とりわけ夜空の視程—を意識することは極端に少なくなります。そのため、夜の大気汚染の影響にはあまり関心が向かないのが実情でしょう。七夕を機会に、夜の「きれいな空」を意識してみると、ちがった景色が見えるかもしれません。

右の画像は、「コロナ影響で大気汚染が改善」という皮肉な報道映像です。コロナは決して歓迎できませんが、人間の経済活動が良くも悪くもすぐに地球環境に影響することがよくわかります。見方を変えれば、適切な対策をとれば今からでも地球の未来は変えられる、ということなのです。

(ANN News より/1年生は先週の「SDGs×レゴ®」のワークショップで見ましたね!)



★ 天の川が見えない——光害 世界の3分の1の人は天の川が見られない

漆黒の夜空を流れる天の川は、はるか昔から人間にインスピレーションを与えてきた。古代エジプト人は夜空に牛乳がたまっていると言ひ、ヒンドゥーの神話では空で孤を描くその姿を、泳ぐイルカとなぞらえた。またガリレオ、アリストテレス、フィンセント・ファン・ゴッホをはじめとする無数の科学者、哲学者、芸術家が、天の川を見上げながら思索にふけったと言われている。

しかし、全世界の夜空を網羅した最新の光害マップが公表され、世界人口の80%以上、そして米国と欧州の人口の99%が、人工光の影響下に暮らしていることがわかった。また世界人口の3分の1以上、ヨーロッパの人々の60%、北米の人口のほぼ80%が天の川を肉眼で見られないこともわかった。

(ナショナル・ジオグラフィック日本版 Web サイトより)



夜間も活発な人間の経済社会活動。街を煌々と照らす明かりも、夜空から天の川を奪っているのです。

★ 100%再生可能エネルギーへ——デンマーク



福祉先進国としても名高い北欧のデンマークは昨年末、歴史的な「新気候変動適応法」に合意しました。これは2030年までにCO₂排出量を1990年比70%削減、2050年までにカーボンニュートラル(二酸化炭素排出量を実質ゼロ)にするというもので、「世界でも最も野心的な気候変動適応法」と気候大臣はいいます。デンマークは1990年代から風力発電に注力し、周辺諸国との送電連系の構築にも力を入れ、すでに昨年消費電力の50%を風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーが占めますが、経済成長も同時に達成しています。CO₂を削減しながら経済成長するモデルは「デカップリング」とよばれ、それを可能にしているのが、国家の基本方針に基づく化石燃料から再生可能エネルギーへの移行と熱の徹底的な活用です。この成長モデルは、今後世界の環境先進国の手本となっていくことが期待されています。

先日の報道で、日本も2030年度までに現在ある非効率な石炭火力発電の設備は9割削減する方針であることが明らかとなりました。今のところ歓迎の声と疑問の声とが入り混じっていますが、今後、実効性のある形での変革を遂げられるのか、私たちは注目していく必要がありそうです。

★ 美しい星空を守る——美空町

岡山県井原市にある美空町は、美しい星空を守るために全国でも先駆けて光害防止条例を施行・実施した町です。流れ星伝説や天文台など、星に関係する場所やイベントを多数開催し、美しい星空を守るための啓発活動と観光誘致を両立させる挑戦を続けています。

きれいな空を守ることが、私たちの健康も環境も経済も守り成長させていくことは明白です。夜空を眺めているだけでなく、具体的なアクションが求められています。

ジェンダー・プロジェクト主催「竹×SDGs」企画

“SDGs七夕飾り”締切間近!

11 住み続けられるまちづくりを

クリーンなエネルギーで、クリーンな空気と星空! グリーンな地球を実現!

年 組 _____

(FSC®認証紙)

(掲示した用紙はFSC®認証紙を使用しています)